

## 社外取締役委任契約書例

株式会社\_\_\_\_\_（以下「甲」という。）と\_\_\_\_\_（以下「乙」という。）とは、甲乙間に次のとおり社外取締役委任契約を締結する。

### 第1条（目的）

甲は、乙を甲の社外取締役として平成\_\_\_\_年\_\_月に開催する甲の第\_\_\_\_回定期株主総会で選任し、乙は甲の社外取締役として以下の条件で就任する。

### 第2条（乙の地位）

乙は、東京証券取引所が定める独立役員としての独立基準に抵触しないことを、甲に対し保証する。

### 第3条（乙の義務）

乙は、甲の定款、取締役規則その他会社規則ならびに会社法の規定を遵守し、甲に対し善管注意義務、忠実義務を負うものとする。

### 第4条（報酬等）

甲が乙に対して支払う報酬及び賞与等は下記のとおりとする。

#### 記

- 年俸\_\_\_\_\_万円（12ヶ月間の均等支給）
- 取締役会出席に伴う交通費など諸経費については、別途支給する。
- 賞与は支給しない。
- 株式報酬については、\_\_\_\_\_

### 第5条（機密保持）

乙は、職務上知り得た甲の企業秘密を、取締役就任時および退任後\_\_\_\_年間は他へ漏らしてはならない。

### 第6条（任期）

乙の任期は、第1条により選任された時から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとする。甲が株主総会の決議により乙を再選する際は、別途契約を締結する。

本契約締結の証として本書2通を作成し、記名捺印の上、甲乙各1通を保有する。

令和 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

甲： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 印

乙： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 印